



おくたま

第207号

令和5年11月5日発行

町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/>

第3回定例町議会

第3回定例会は、9月4日から9月15日までの、会期12日間にわたり開催されました。

令和4年度の各会計決算は、本会議初日に提案され、延べ4日間にわたり行われた決算審査について、松永健太郎代表監査委員による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く10名で構成する決算特別委員会に審査が付託されました。

9月12日、13日の2日間にわたり開会された決算特別委員会では、内容説明、質疑等が行われ、15日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

○認定第1号
一般会計

○認定第2号
都民の森管理運営事業特別会計

○認定第3号
山のふるさと村管理運営事業

特別会計

○認定第4号

国民健康保険特別会計

○認定第5号

後期高齢者医療特別会計

○認定第6号

介護保険特別会計

○認定第7号

下水道事業特別会計

○認定第8号

国民健康保険病院事業会計

決算審査報告（監査委員）

令和4年度の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証明書類とも照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。

《令和4年度、奥多摩町における健全化判断比率算定書類及び資金不足比率算定書類に関する

審査の結果》

算定基礎事項を記載した書類とチェック表とを照合の結果、計数等は、全て正確で、適正に書類が作成されていた。その結果、健全化判断比率及び資金不足比率についてはともに良好であると認める。

決算特別委員会質疑

決算特別委員会では、次のことについて、質疑を行いました。

○一般会計

- ・ 指定寄付金内容及び使途
- ・ 白丸観光駐車場、有料化に伴う利用料金の流れ
- ・ 国有資産等所在市町村交付金内容
- ・ ふるさと納税ポータルサイトについて
- ・ 職員研修実施内容と方法
- ・ 庁舎管理費の工事請負費用不額の理由
- ・ ホームページ訪問者数及びアクセス数が減少している理由
- ・ 受験生チャレンジ支援貸付事

業委託料の支出内容

- ・少子化対策事業費不用額内容
- ・障害福祉サービス事業所物価高騰緊急対策事業不用額内訳及び理由
- ・福祉モノレール操作用送信機の内容及び設置対象者の範囲
- ・福祉モノレール等整備事業費不用額の理由
- ・ファミリー・サポート・センター利用助成及び利用実績、利用会員数と協力会員数
- ・保育所措置費内容
- ・障害者地域生活支援事業費及び障害者地域活動支援センター事業費内容と委託料
- ・旧レイクサイド奥多摩建物管理補助業務委託について
- ・障害者虐待防止対策事業費不用額の理由及び相談対応
- ・狂犬病予防注射未接種に対する飼い主への対応と犬登録数
- ・高齢者外出支援サービス事業内容
- ・精神専門相談事業費不用額内容と相談対応
- ・地域備蓄用食糧の各自治会配布時期と賞味期限

防災費の消耗品購入内訳

- ・転入者等への非常持ち出し用リュックサック配布状況
- ・雨量観測システム内容及び設置数、設置時期
- ・町管理の消火栓数及び維持管理費内容
- ・消防用ホース購入内容
- ・学校運営協議会委員報酬内容及び協議会の決定権限
- ・図書室蔵書管理システム内容
- ・青目立不動尊休み処管理委託料内容、現在の状況と今後の活用
- ・巨樹(倉沢のヒノキ)コース整備状況
- ・学校運営協議会における報告先、意見や改善点及び要望
- ・水と緑のふれあい館レストラ利用者数
- ・青目立ち不動尊休み処活用状況
- ・文化財活用及び収蔵庫基本計画策定業務委託内容、現在の文化財保管状況と今後の展開
- ・古里小学校プール改修基本調査業務委託内容、温水化の予定、調査報告、児童への水泳指導

導

- ・日原ふるさと美術館利用者数と防犯対策
- ・美術品の管理状況
- ・教育文化振興基金について
- ・外国語教室内容と今後の展開
- ・せせらぎの里美術館と日原ふるさと美術館を含む森林館業務委託料内容について
- ・日原ふるさと美術館の管理運営及び管轄
- ・せせらぎの里美術館改修工事と今後の活用
- 都民の森管理運営事業特別会計
- ・実質収支額の繰越について
- 山のふるさと村管理運営事業特別会計
- ・入園者数及び園内施設利用者数、施設利用促進について
- 国民健康保険特別会計
- ・保険料未納額が倍加となった背景と理由、資格証発行状況
- 後期高齢者医療特別会計
- ・保険料未納額について
- 介護保険特別会計
- ・第1号被保険者保険料未納額の背景と保険給付状況
- 下水道事業特別会計

電気・機械設備点検整備委託内容

- ・電気設備及びM P・G P更新整備委託内容
- ・奥多摩処理区維持管理費における修繕費内容
- 奥多摩町国民健康保険病院事業会計
- ・空調設備改修工事設計委託内容
- ・レスパイト入院への対応及び赤字解消について

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも議員の賛成多数により、原案のとおり承認、可決、同意されました。

【 条 例 】

○議案第35号

奥多摩町下水道事業の設置等に関する条例

○議案第36号

奥多摩町防災備蓄倉庫設置条例

○議案第37号

奥多摩町町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

○議案第38号

奥多摩町長期継続契約の締結に関する条例の一部を改正する条例

○議案第39号

奥多摩町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

【報告】

○報告第2号

継続費の精算

○報告第3号

令和4年度決算における奥多摩町健全化判断比率

○報告第4号

令和4年度決算における奥多摩町資金不足比率

○報告第5号

奥多摩町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(令和4年度分)

【補正予算】

○議案第43号

一般会計(第2号)

○議案第44号

都民の森管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第45号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第46号

国民健康保険特別会計(第1号)

○議案第47号

後期高齢者医療特別会計(第1号)

○議案第48号

介護保険特別会計(第1号)

○議案第49号

下水道事業特別会計(第1号)

○議案第50号

国民健康保険病院事業会計(第1号)

【契約】

○議案第51号

小学校電子黒板購入契約

○議案第52号

もえぎの湯大浴場等改修工事請負契約

【人事】

○議案第40号

自治功労者の決定の同意

・須崎 眞 氏

(大丹波在住)

○議案第41号

奥多摩町教育委員会委員の任命の同意

・大串 千代 氏(新任)

(大丹波在住)

○議案第42号

奥多摩町教育委員会委員の任命の同意

・武本 正明 氏(再任)

(小丹波在住)

議員提出議案

次の議案が提出され全議員の賛成により可決されました。

○議員提出議案第4号

奥多摩町議会委員会条例の一部を改正する条例

陳情の取扱い

審議されたのは、陳情4件で、次のように決定しました。

【不採択としたもの】

○陳情第3号

第8期介護保険事業最終年度末における介護保険給付準備金保有額の第9期介護保険事業計画への繰入についての陳情

○陳情第4号

「消費税インボイス制度の2023年10月からの実施について再考を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書

○陳情第5号

「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出」を政府に送付することを求める陳情書

○陳情第6号

健康保険証の存続を求める陳情

令和5年第3回定例会では、12名の議員から通告書の提出があり、11名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、11月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。

QRコード



Table with 12 columns (議員名) and 6 rows (議案番号, 陳情第3号, 陳情第4号, 陳情第5号, 陳情第6号). Includes a legend for voting symbols.

【賛成・・・○反対・・・×議長は裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。】

賛否が分かれた議案・陳情

一般質問

- 澤本 幹男議員 (4ページ)
・川井八雲松葉地区若者定住化対策地域東側空き地の利用について
・白丸のグリーンウッド奥多摩下の町道について
○相田恵美子議員 (5ページ)
・奥多摩町空家等実態調査業務の民間委託について
・障害のある方の行政手続き等の合理的配慮について
・猛暑にランドセルの保冷パッド配布について
○石田 芳英議員 (5ページ)
・子どもの居場所づくりについて
・中学校の部活動の状況と地域連携について
○原島 幸次議員 (6ページ)
・介護家庭の孤立防止について
・エアコン設置に伴う補助金について
○宮野 亨議員 (6ページ)
・認知症の損害賠償保険制度等について
・災害時等の孤立対策について
○小山 辰美議員 (7ページ)
・町が購入した小型バスの活用について

- 伊藤 英人議員 (7ページ)
・持続可能な観光立町について (サステナブル ツーリズム)
・子ども用おむつの無償化について
・公園に大人向け健康遊具と防災遊具を
○森田 紀子議員 (8ページ)
・オーガニック給食の導入と有機農業について
・ゲノム編集トマト苗について
○木村 圭議員 (8ページ)
・「これからの奥多摩の観光」について
○小峰 陽一議員 (9ページ)
・奥多摩駅前広場の活用状況と夜間照明の増設を
○大澤由香里議員 (9ページ)
・奥多摩町消防団のあり方について
・マイナンバー保険証について

町長1 川井松葉地区内の土地整備計

質問1 川井八雲松葉地区に若者定住化対策地域として整備工事が始まった。この場所の東側にまだ広い土地が残っている。集会所を作る要望であるが、ここは災害対策のレッドゾーン指定がない場所であり有効に使うべきだ。しかし、この場所の先は崖で又、大きな沢があり安全対策を講ずる必要がある。この東側空き地の利用をどの様に考えているのか。
質問2 白丸にあるグリーンウッド奥多摩には入居者・利用者と従業員等を含め約170名の人達がいるが、大型消防車や救急車等の緊急自動車が入るには白丸駅上の狭い町道1本しかない。白丸自治会からも何度もこの町道の整備・建設を要望している。以下同う。
①グリーンウッド奥多摩下の町道の整備・建設計画の進捗状況は。
②この町道の完成予定はいつか。



自民党清新会 澤本 幹男 議員

問 1 川井八雲松葉地区若者定住化対策地域東側空き地の利用について
2 白丸のグリーンウッド奥多摩下の町道について
答 1 様々な角度から精査をして事業を進める
2 実施計画に基づき着実に建設整備を進める

画で令和5～6年度の2か年で、町道新設工事を予定し、同時に定住対策用として分譲地7区画分の設計を行い、定住対策用地に資する事業を進めている。この松葉地区内の土地は、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に指定されていない貴重な土地でもあり、様々な活用方法の提案を頂いた。東側の崖の安全対策も必要であると認識している。
町長2 ①この路線の建設・整備は平成26年度から着手し、以降は、地域を流れる棚の沢を横断するため河川の護岸構造物や河床の整備を行い、現在進捗率は43%で、計画延長の約半分近くまで整備を進めている。②東京都に対し要請を行い継続して事業を実施していく。沢筋を横断する際、護岸構造物の整備等大きな事業費が必要となる。実施計画に基づき着実に建設・整備を進め令和9年度全線開通を目指す。



ガジュマルの会
あいだえみこ
相田 恵美子 議員

問

1 奥多摩町空家等実態調査業務の民間委託について

2 障害のある方の行政手続き等の合理的配慮について

3 猛暑にランドセルの保冷パッド配布について

答

1 専門的で連続的効果的な実態調査をする

2 親切丁寧な対応を心掛けています

3 対策を学校と共に研究する

質問1 空家等実態調査業務がこれまでの職員が担ってきた定住サポートから今年度は民間業者に委託された。①民間委託に至った経緯は。②業務内容について。③町(定住サポート)との連携は。④空家に対する町の具体的な考えは。

②空家所有者調査、実地調査、空家に関する意向調査、空家活用・管理システム入力が主な内容。③定住サポートの役割は終了し、民間業者、自治会及び町の三者間で連携する。④「少子化対策」「定住対策」が位置づけられており、空家対策については各種取り組みをし、定住に資するような施策を展開している。

質問2 町は障害のある方が独居の場合、行政手続き等はどのようにされ、どのようにサポートされているか。

町長2 障害の特性に応じて、親切丁寧な対応を常に心掛けています。来年4月、すべての事業者において合理的配慮の提供が義務化を控えるなか、他の模範となるよう町役場として合理的配慮を徹底し、共生社会の実現を目指す。

質問3 兵庫県のたつの市では小学生が市長に「毎日暑くランドセルが重い」との手紙を書いたところ、市長は早速、暑さ対策にランドセルの保冷パッドを配布した。熱中症対策に町でも同様の取組みはできないか。

教育長3 保冷パッドで使用する保冷剤の持続時間は1時間程度とのことで、下校時間まで持続しないため、事例も参考にしながら、当町の通学方法や気候にあった対策を学校とともに研究していく。

町長1 平成27年度から町職員による空家実態調査を実施してきたが、より専門的で連続的に活用等に繋がる効果的な空家実態調査をする必要があると考えた。



都民ファーストの会
いしだ よし恵
石田 芳英 議員

問

1 子どもの居場所づくりについて

2 中学校の部活動の状況と地域連携について

答

1 近隣施設との連携・活用を図っていく

2 更なる世代間交流も図っていく

質問1 子どもの居場所づくりについて①『魅力ある学校づくり』の現在までの取り組みや成果は。②町として『子どもの居場所づくり』について『考えや取り組みは。③町内にフリースクールはあるか、また連携・活用の考えはあるか。

教員を対象とした研修会を実施し「魅力ある学校づくり」に関する実践等を協議する機会を設定し、不登校の未然防止に向けて取り組んでいく。②個々の児童生徒にとって居場所を感じられるような取り組みを進める必要があると考え、福祉会館に教育支援センター「せせらぎ学級」を設置し、出席扱いとしている。

質問2 中学校の部活動の状況と地域連携について①統合以降の奥多摩中学校の部活動の状況は。②地域の団体が中学校に向いて活動し連携されているが、その活動の状況は。

③町内にフリースクールと認定されている施設はないが、近隣地区に設置されている施設との連携は可能で連携・活用を図っていく。

教育長1 ①文部科学省から令和元年10月25日付けの通達「不登校児童生徒への支援の在り方について」で、不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目標にする必要があり、「学校に来させることを最終目標にしない」との転換があった。

教育長2 ①現在、スポーツ部、アウトドア部、カルチャード部、ボランティア部、バドミントン部が活動し、約80%の加入率となっている。

町長1 ①現在、スポーツ部、アウトドア部、カルチャード部、ボランティア部、バドミントン部が活動し、約80%の加入率となっている。

②町内や地域の方から指導を受けている。グラウンドゴルフでは高齢者の方が一緒にプレーすることを楽しみにしており、今後は更なる世代間交流も図っていく。



自民党清新会
ほらしま ゆきつぐ
はらしま 幸次 議員

問

1 介護家庭の孤立防止について
2 エアコン設置に伴う補助金について

答

1 介護支援専門員連絡会を定期的に開催
2 エアコン設置に関する補助制度を検討

質問1厚生労働省によると、虐待した人と被害者が2人で暮らす家庭が半数以上で、息子から親、夫から妻への虐待が多く、介護する人が誰にも悩みを明かせず、知らずに虐待に走ってしまうことが少なくないのではないか。町としては、民生委員や社会福祉協議会と連携し、孤立しがちな家庭を早期に把握することが大切である。自治体と地域が連携し、介護者の負担を減らすとともに、SOSの出しやすい環境作りの対策は。 **質問2**本年、日本列島は高気圧に覆われ、当町も連日気温35度以上の猛暑日となった。熱中症対策として生活館で冷房をいれて開放している地域もある。高齢者の住いには扇風機だけでエアコンが設置されていない住宅もあり、熱中症防止のために、高齢者や低所得者に対してエアコン設置に伴う補助金の支給について、緊急性を要するため町の考えを問う。

町長1介護家庭の孤立防止のため、町では、毎月開催される民生・児童委員協議会定例会に、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」配置の見守り相談員が必ず出席し、自治会単位での状況を把握し、介護者である家族の負担軽減のため、要介護状態に応じて、在宅介護サービスを適切に利用できるよう、町内の介護支援専門員連絡会を定期的に開催し、情報共有・意見交換を図る。

町長2今年の7月、8月は連日の猛暑続きで、国は「熱中症対策実行計画」を策定し、来年から「熱中症特別警戒情報」が発令されることを踏まえ、この猛暑、異常気象は緊急性を要する状況であると危惧しており、来年の夏までに、町としてエアコン設置に関する補助制度を創設できないか、財源確保も含め検討する。



公明党
みやの 亨 議員

問

1 認知症の損害賠償保険制度等について
2 災害時等の孤立対策について

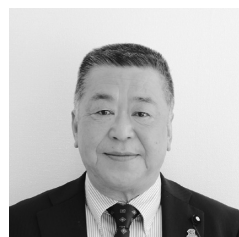
答

1 認知症検診推進事業は、実施可能か協議していく
2 冷凍庫購入の代金助成は必要性が低いと考える

質問1「認知症事故救済制度」を支援する取り組みと、早期受診を支援する「認知症診断助成制度」について。 **質問2**災害時等の孤立化対策に伴う冷凍庫（一般家庭が使うサイズ）の購入を希望する個人に対し、町から購入代金の一部助成ができないか。 **町長1**「認知症事故救済制度」の支援について、近隣では昭島市が事業を開始している。今後、国や都において、認知症事故救済制度に特化した補助制度が創設された際には、認知症の方や、そのご家族の不安を少しでも軽減し、安心して住み慣れた地域での生活を維持していただくため、東京都へ制度創設を働きかけるとともに、町として早期に実施できるような、他自治体の取り組みなどを確認し検討していく。「認知症診断助成制度」について、町は、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を

行い、地域包括支援センターへの相談や、地域連携型認知症患者医療センターである奥多摩病院への受診勧奨につながるよう周知啓発を図った。一方、東京都の「認知症検診推進事業」は、補助率10分の10の補助金を活用できることから、自身の負担を最小限にして、受診の機会を確保するため、町医師会のほか都福祉局とも来年度から実施可能か協議していく。

町長2冷凍庫の単体での購入に伴う代金の助成は、活用の見込みや効果の点で必要性が低いと考える。町は孤立化対策として、防災備蓄倉庫への備蓄の充実に努めるとともに、1週間分の家庭内備蓄や日常備蓄（ローリングストック）についての周知広報を引き続き実施していく。



山なみ会
こやま たつみ
小山辰美議員

問 町が購入した小型バスの活用について

答 購入者は西東京バスであるが、関係課とも連携を図りながら協議していく

質問 令和4年3月議会において、町が購入した小型バスの活用について質問した。その時の答弁では、「日原街道の通行規制後は町の新型コロナウィルスワクチン集団接種時に送迎バスとして活用したが、日常的に活用はできていない。今後の活用については西東京バスと協議し、チャーター等を含めて有効に活用できる方法を探っていく」という趣旨であった。町から繰り入れた大切な基金で購入した小型バスなので、町管内での活用を図るべきだ。西東京バスとの覚書では、どのような約束をかわしているのか、また、協議の進捗状況は。

町管内での運行を原則とするこ
と、覚書の有効期限は令和7年5月
までとすることが記載されている。
西東京バスとの協議の進捗状況は、
年数回の会議を通じ協議している
が、打開策と言える活用方法は見出
せていない。定員数は29名である
が座席数が10席であることも活用
の幅を狭める一因となっている。あ
きる野市及び日の出町からは、コミ
ュニティバスの予備車両を含めた
使用依頼があり、今年度末までの使
用を可能とする協定を締結し活用
は図られている状況にある。今後、
他の分野でも小型バスの活用がで
きないか、関係課とも連携を図りな
がら協議していく。



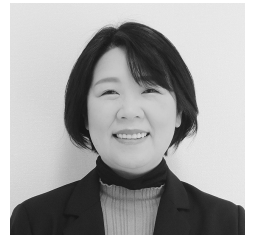
どんぐり
いとう ひでと
伊藤英人議員

問 持続可能な観光立町について
(サステナブルツーリズム)

答 SDGsに配慮し、今までと異なる観点の観光地域づくりの検討が必要

質問 サステナブルツーリズムとい
う、地域の3つの要素(経済、社会、
環境)を持続、発展させる新たな観
光の考え方がみられる。
①これからの町の観光のあり方は。
②サステナブルツーリズム醸成のた
め、町や観光協会主体での、観光庁
や東京観光財団の補助事業の活用は。
③今夏の観光ゴミ対策は。
観光客専用ゴミ袋の販売実績は。
観光ゴミ対策事業周知のため、看板
等の増設や多言語化は。
町長 リバーアクティビティや、地域
の文化・習慣等を観光資源として活
用し、地域住民と運営を行う滞在型
観光の「沿線まるごとホテル事業」
など、サステナブルな観光の取組が、
民間事業者により進められている。
①今までとは異なる観点を持った
観光地域づくりを検討する必要が
ある。町、観光客、観光関係事業者、
受け入れ地域が一体となって、国立

公園におけるサステナブルな観光
施策の実践が重要。
②民間事業者の提案に推薦や同意
する形ですでに補助活用。事業主体
となることは、観光協会と今後研究
する。
③観光客専用有料ゴミ袋の周知・販
売・回収。マナーアップキャンペーン
の実施。多摩大生による清掃活動。
河川管理者の東京都西多摩建設事
務所に対し、ゴミや騒音問題の状況
説明・情報共有し、都防災サイトに
掲載。新たに、奥多摩ドローン協会
の協力でスピーカー付きドローン
を活用し、河川の監視、音声での広
報と注意喚起を行う実証実験を実
施。観光客専用ゴミ袋は、累計1089枚
。今年度は8月末時点で653枚販売。
周知が図られていると感じる。現在、
多言語化の看板等やポスターの増
設の予定はない。効果的な対応策を
検討。



宇宙会
も森田のりこ議員

問 1 オーガニック給食の導入と有機農業について
2 ゲノム編集トマト苗について

答 1 小規模な取り組みは可能と考えている
2 ゲノム編集トマト苗の配布はない

質問1 農林水産省では、令和4年1月「オーガニックビレッジ(仮称)の創出に向けて」と題し、有機農業産地づくり推進を打ち出している。世界の有機食品の売上は増加し、食の安全について意識が高まっている。日本でも樹木を利用した有機肥料のバーク堆肥等の需要が高まっている。奥多摩町では堆肥となる資源が豊富。まずは小規模な堆肥づくりの場所を確保し、有機栽培をしていく方を探して技術指導等を受けていただく、栽培して学校給食をオーガニック給食にする試みの事業を立ち上げる体制づくりは可能か。

質問2 サナテックシード(株)とパイオニアエコサイエンス社がゲノム編集したトマト苗を2023年から全国の小学校へ配布する計画を発表した。遺伝子組替技術に代わる新たな技術として研究が進むゲノム編集食品は、遺伝子組換食品やゲノム編集食品は、まだ不明な点が多い未完成な技術であり、様々な懸念がある。しかもゲノム編集食品は、事業者の届出は任意。食の安全性審査や環境影響評価、表示義務もない現状では、消費者の知らない間に流通してしまう可能性がある。消費者の知る権利が奪われている。ゲノム編集したトマト苗を受け取らないと意思表示をしたのは332自治体。町の小学校ではゲノム編集されたトマト苗を受け取ったか。

町長1 高齢化や担い手不足などの理由により、不耕作となった畑が増えている現状もあり、町の農業環境や担い手不足等の状況から、様々な基準を満たし、本格的に制度を構築することは困難であるが、小規模な取組として試みることは可能と考えているので、学校や教育委員会の意見を聞き研究していく。

教育長2 当町では、ゲノム編集したトマト苗の問い合わせや配布はない。



自民党清新会
きむら けんじ議員

問 「これからの奥多摩の観光」について

答 自然豊かなまちの魅力を発信し、観光振興に努める

質問 奥多摩町は、これまで長い間観光立町を標榜してきた。訪れる観光客はインバウンドや在日外国人も多くなり、観光に対する楽しみ方や考え方などが変わってきていると感じる。そして、新型コロナウイルス感染症が長く続き、町に訪れる観光客の変化は更に加速し、さまざまな問題が発生してきている。これらに対応した観光政策を取らなければ、観光立町は成り立たなくなる。「これからの奥多摩の観光」について、師岡町長の考えを問う。

町長 昭和30年の奥多摩町の発足に当り、新町建設の指標の一環として観光立町の宣言をして以来、観光協会の設立をはじめ「溪流釣場」「キャンプ場」「温泉センター」「鳩ノ巣荘」などの観光施設、「むかし道」「鳩の巣渓谷遊歩道」「数馬峠遊歩道」などの遊歩道、「海沢体験農園」「森林セラピー事業」などの「体験」や「い



自民党清新会
こみね よういち
小峰 陽一 議員

問
奥多摩駅前広場の活用状況と夜間照明の増設を

答
奥多摩駅前広場は町が管理している
観光案内所前の照明増設の予定はない

質問奥多摩駅前広場は、平成26年4月からJR東日本用地の使用協定を結び、駅前観光トイレの設置や、休日や祝祭日のイベント会場用地として使用しているが、年間の使用状況はどうか。また、使用協定の内容を問う。4年ぶりの「山のふるさと花火」では多くの観光客が来町し盛大に行われ、駅前や広場は混雑状態であった。花火終了後は帰宅電車を待つ人達が夜半まで駅前周辺で乗車待ちとなっていたが、観光案内所前の広場は薄暗く保安上夜間照明が必要と感じた。平常時は、駅前横丁（お稲荷こみち）方面を通り帰宅する人も多く、観光案内所前1帯が暗いので、夜間照明の増設を希望する人達がいるが、対応できないか。

「観光案内所前1帯が暗いので、夜間照明の増設対応できないか」について、現地調査では広範囲に一定の明るさが確保されている状況にあると考えるので増設の予定はない。

なり駅前広場の使用を開始した。年間の使用状況は、通年で日原方面バス乗り場、タクシー待機場所、観光案内所前の広場ではイベントの開催時の使用や登山客等の安全行動を促す広報・啓発活動などでの使用があり、広場の管理を始めた平成26年度から令和2年度までの年間使用日数は20日から30日程度であったが、令和3年度は57日、令和4年度は129日の実績である。

JR用地のうち524・78㎡の借用方法は無償使用とし、その区域の固定資産税は免除としており、その使用は原則として公共利用とし、維持管理等は町が行う。



日本共産党
おおさわ ゆかり
大澤 由香里 議員

問
1 奥多摩町消防団のあり方について
2 マイナンバー保険証について

答
1 「消防団」に対し、なお一層のご理解を
2 現在のところ、トラブルはなし

質問1①価値観が変化している若年層や共働き世帯、多くの被用者が参加しやすい消防団となるよう、工夫・改善・検討していることは。②操法大会の見直しは。③女性消防隊員の役割・活動内容は。

防団長等の意見も聞き、検討していきたい。③「規律訓練等、消防団事業への参加、火災予防等啓発、後方支援活動等」で、女性の視点を生かし、地域の防火指導、広報活動、応急手当の啓発などの活動に従事。

質問2①町民のマイナンバーカードの取得と保険証ひも付の状況は。②町民のマイナンバーカードにひも付けた登録情報のチェック状況は。③町でのトラブルの発生状況は。また、奥多摩病院などでの対応は。

町長1①年額報酬及び出勤報酬の支給、活動服、編上靴など、個人に支給。公務災害補償、退職報償金、表彰等の制度がある。家族対象のレクリエーション大会も行なっている。地域に密着した活動に参画する事により、交流範囲が広まり地域社会に溶け込み易くなる。郷土愛、地域を守る使命感など、消防団員の信頼感は大い。②操法審査会開催による不安事項等の解消について、消

町長2①町における8月1日現在のカード申請率は77.8%、交付率は69.2%。保険証とのひも付け状況は、国民健康保険では、被保険者118人中601人50.6%、後期高齢者医療保険では被保険者数1351人中587人43.4%がマイナ保険証利用登録済。社会保険等、他の保険者を含む全体の状況は把握できない。②地方自治体の場合、住民基本台帳情報と連携しているため、登録誤りは起こらない仕組みとなっている。また、国保及び後期高齢者の保険においては登録の都度エラーチェックができています。③現在のところ、町でも奥多摩病院についても、トラブルは発生していない。

議会日誌

14日	13日	12日	10日	7日	5日	4日	2日	9月	31日	30日	24日	18日	17日	9日	7日	4日	3日	1日	8月
高齢者在宅サービスセンター敬老会	決算特別委員会	隊激励(第3分団)	第34回西多摩地区消防大会出場	海外派遣事業帰国報告会	決算特別委員会	町議会第3回定例会	町議会第3回定例会	青梅・奥多摩交通安全のつどい	町議会第3回定例会	健康づくり推進協議会	国民健康保険事業に係る勉強会	例月出納検査	秋川流域斎場組合決算審査	決算審査	決算審査	西多摩地域広域行政圏協議会審議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	協議会第2委員会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
16日	15日	14日	11日	10日	9日	5日	3日	10月	2日	30日	25日	23日	21日	20日	17日	15日	10月	15日	
西秋川衛生組合議会定例会	飯島嘉明氏瑞宝単光章受章祝賀会	山ふるさと村音楽祭	古里小学校創立150周年記念式典	水川小学校創立150周年記念式典	山ふるさと村音楽祭	飯島嘉明氏瑞宝単光章受章祝賀会	西秋川衛生組合議会定例会	秋川流域斎場組合議会定例会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会	西多摩地区議長会議・懇親会

12月定例会等日程(予定)

臨時会	11月27日(月)
臨時会	12月1日(金)
議会運営委員会	12月11日(月)
本会議	12月19日(火)
	12月20日(水)
	12月22日(金)
陳情受付期間	12月1日(金) 一般質問まで

会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。
☎0428(83)2302(議会事務局直通)

17日	17日	17日	23日	21日	17日	31日	30日	28・29日	26日	24・25日	23日	21日	17日
議会だより編集委員会(書面開催)	福祉大会	第34回東京都道路整備事業推進大会	町村監査委員全国研修会	例月出納検査	(二社) 大多摩観光連盟通常総会	奥多摩町のち支える自殺対策推進協議会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	奥多摩ふれあいまつり	例月出納検査	町村監査功労者表彰式	第34回東京都道路整備事業推進大会	福祉大会	議会だより編集委員会(書面開催)

編集後記



議会だより編集委員に任命され、2期4年が経過しようとしています。この4年間はコロナウイルスに振り回された年でした。令和2年初期に新型コロナウイルス感染者が確認された以降、自粛生活が始まり、感染がひろがり、ワクチン接種が始まりました。この期間の行事はほとんどが中止となりました。徐々にワクチンの効果が現れ、令和4年末には感染症の減少がみられ、翌年5月からはインフルエンザなどと同じ5類に分類となり沈静化すると思われましたが、僅かではあります。最近町内での感染者が見られるようになりました。周囲の状況により、今一度原点に戻って、「マスクの着用・手洗の励行・アルコール消毒・部屋の換気・人と人の十分な距離を取る」など、感染予防に心がけましょう。

小峰 陽一(記)

伊藤 英人 森田 紀子
相田 恵美子 木村 圭

